

第8回 作業療法ジャーナル研究助成・研究経過報告

「特別支援学校で働く教員の専門性とは」研究経過報告



小林 郁氏

小林 郁

(神奈川県立相模原中央支援学校、作業療法士)

第8回の作業療法ジャーナル研究助成に私の研究を選んでいただき、昨年度から研究を進めております。

本研究のテーマは、「特別支援学校で働く教員の専門性とは」です。この研究は、特別支援学校でOTという医療の専門職種立場で働いている私が、同僚である教員の中には教育者としての専門性に対する疑問や不安を感じながら特別支援教育に携わっている者がいることを知り、互いの特長を活かした支援につなげるためにも、一度、教員の専門性を研究する必要性を感じたことが契機になっています。

現在は、文献研究や予備調査をもとに見いだされたキーワードをベースに、特別支援教育と

いう専門職に就く教員が仕事をどのようにとらえているのか、また自らのアイデンティティはどこにあると考えているのかを探るべく、半構成的面接にてデータを収集しているところです。

研究開始より1年が経ち、予備調査を終え、数名の研究協力者からの同意を得て、インタビューに取り組みはじめたところです。

今後も特別支援学校での実践の中で、引き続き教員の協力を得ながら、インタビューを重ねると同時に、データの分析・まとめと研究を進めていきたいと思っています。

このたびは、ありがとうございました。